

小児外科研修カリキュラム

研修目標の概略

1 臨床知識・技能の習得

小児外科的疾患の解剖および病態生理を発生学的見地をふまえて理解し、基本的診療を行いうる知識と技能を習得する。

2 医学情報管理能力の習得

小児外科的疾患の病態解明及び最新の治療についての医学情報を入手し理解するとともに他の医師との共有ができる

3 医師としての人格形成錬磨

患児の診療を通して、両親および関係者からの信頼を得られる人格を育成する

4 個人業績の蓄積

研修期間中に学会発表、論文発表を行う

研修の対象

- 1 小児外科専門医を目標とするもの（研修後、希望すれば引き続いて大学医局管理下での臨床および研究に従事することも可能）
- 2 小児科専門医を目標とし、小児の外科的疾患の診断および管理方法の習得が必要な者
- 3 外科専門医を目標とし、小児外科疾患の手術受け持ち症例が必要な者

一般および行動目標※2年次までに達成

G10-1 小児の外科的疾患の診断に必要な問診および診察を行うことができる

SBOs 行動目標

- 1 主な小児外科疾患の病態生理を発生学的見地をふまえて説明できる
- 2 諸症状から該当する小児外科疾患を列挙できる
- 3 問診および身体所見から治療の緊急度を認識できる
- 4 小児ソ径ヘルニア 陰嚢水腫 停留精巣を鑑別できる
- 5 女児卵巣滑脱ヘルニアを診断できる

※6 乳児そ径ヘルニアかんとんと水腫が鑑別できる

G10-2 小児の外科的疾患の診断・検査計画をたてることができる

SBOs 行動目標

- 1 種々の症状から鑑別診断をあげることができる
- 2 鑑別診断のための適切な検査を選択し順序立てることができる
- 3 診断検査上の患児の問題点を整理して上級医に相談できる

GI0-3 小児の外科的疾患の診断に必要な基本検査の実施ならびにその結果の解釈ができる

SBOs 行動目標

- 1 画像検：単純撮影 消化管造影 超音波検査（FAST）を適切な順序で計画実行できる
- 2 静脈採血および新生児のかかと採血ができる
- ※3 穿刺検査 体表部、腹腔 胸腔を上級医の管理下で行うことができる
- ※4 生検：リンパ節 体表組織 直腸 を上級医の管理下で行うことができる

GI0-4 小児の外科的疾患の診断に必要な特殊検査の選択とその結果の解釈

SBOs 行動目標

- 1 超音波検査（腹腔内臓器）CT検査 MR検査 RI検査 内視鏡検査
消化管内圧検査 食道PHモニター検査 十二指腸液採取を適切な順序で計画することができる
- 2 検査を実行するに当たり必要最小限の鎮静処置ができる
- 3 検査結果を両親に説明できる

GI0-5 検査結果から小児外科疾患を診断できる

SBOs 行動目標

- 1 単純レントゲン検査の異常を的確に指摘できる
 - 2 血液検査所見から病状の進行度を推測できる
 - 3 消化管造影検査の異常を的確に指摘できる
 - ※4 肥厚性幽門狭窄症を超音波検査で診断できる
 - ※5 腸重積症を超音波検査で診断できる
 - ※6 急性虫垂炎を超音波検査で診断できる
 - ※7 典型的な腸軸捻転を超音波検査で診断できる
- 2 CT MR RI検査の結果を総合的に判断し診断に役立てることができる

GI0-6 小児外科における基本的治療を選択し適切に確実に実施することができる

SBOs 行動目標

- 1 適切な術前/術後管理ができる
水分出納管理 電解質管理 体温管理 酸塩基平衡管理 感染防御、
※創傷管理
※栄養管理（静脈・経腸栄養）
- 2 基本的な処置および手術（術者、第一助手を上級医の監督下で行うことができ

る

1 創傷処置（局所麻酔 洗淨 縫合）の基本手技	術者	第一助手
2 小児開腹、開胸	術者	第一助手
3 小児の体表部手術（腫瘍摘出、良性腫瘍摘出）	術者	第一助手
4 外崩径ヘルニア 陰嚢水腫根治手術	術者	第一助手
5 腸重積非観血的整復および※観血的整復	術者	第一助手
6 肥厚性幽門狭窄症に対する粘膜外幽門筋切開	術者※	第一助手
7 新生児低位鎖肛におけるカットバック手術	術者※	第一助手
8 人工肛門、腸瘻造設	術者※	第一助手
9 胃瘻造設（PEGを含む）	術者※	第一助手
10 急性虫垂炎手術（開腹）	術者※	第一助手

G10-7 小児外科疾患に対する手術療法を適切に選択し、その結果を評価することができる

SBOs 行動目標

- 1 一つの疾患に対して複数ある手術療法についてそれぞれの長所欠点を理解している。
- 2 術後の機能評価を行う検査を計画できる

G10-8 小児外科疾患の患者とその家族に病状と診療に関し十分な説明ができる

SBOs 行動目標

- 1 手術療法別の長所欠点をわかりやすく両親に説明できる
- 2 各手術療法の際の合併症を理解し両親に説明できる

G10-9 小児外科臨床において遭遇する問題点を解決するための基本的方法を熟知している

SBOs 行動目標

- 1 コメディカルとの連携がとれる
- 2 患児の社会的背景、問題点を察知し、上級医に相談できる